

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援事業所すくすく親子教室

公表日 令和7年 3月 5日

利用児童数 120

回収数 97

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	96	1			・広くて十分。走り回っても十分なスペースがある。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	93	3		1	職員人数は適切。手厚い。適切だが一部人柄が適していない。子どもが集中できず離脱したときもすぐフォローしてもらえるので適切だと思う。	今後も職員間で話し合いながら、子どもが安心して活動に参加できるよう努めて参ります。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	91	4		2	工事中だったので一部気になる部分があった。背は低い子にはロッカーのマークが見にくい。トイレが新しいといい。写真や絵カードがわかりやすい。活動の動線が整えられている子どももしっかり理解できる環境だと思う。片付けの場所や遊ぶ場所がパーティションでわかりやすいようにされている。	子どもが見通しを持って過ごしやすい環境に努めて参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	94	3			トイレの清潔感が少し欠ける。清潔ではないと感じたことはない。・抜け毛が多く落ちている日がある。・上着を掛けるところがほしい。心地よく過ごせる環境だと思う。いつも清潔な環境になっていると思う。	少しでも快適に過ごしていただけるよう、今後も環境の工夫に努めて参ります。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	77	10	3	7	・集団での配慮であると感じる。・子どもの心配ごとを十分には理解してもらえていない。・家庭でできない体あそびや感覚あそびができる。・取り組みにくい子どもも馴染めるよう職員からの声掛けがあり良い環境だと思う。子どもそれぞれに必要な応じて集団プログラムの中でも様々配慮をしてもらっていると思う。	小集団の中でもそれぞれの子どもの課題を考えながら対応させていただいているところですが、保護者への丁寧な説明を今後も心掛けて参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	92	3		2	・十分に子を理解し子に合わせた支援であると感じる。実際に提供してくださっている支援内容がHPでもわかりやすく公表してくださっていると思う。・プログラムというより遊んでいる感覚なのでよくわからない。・公表している支援プログラムがわからない。親がわからないのに公表していても意味がない。	いただいたご意見を参考に、わかりやすくお伝えできるように努めて参ります。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画(※3)が作成されていると思いますか。	85	8	2	2	・自分が気づかないことも先生が気づいてアドバイスしてくれるので助かる。・個別支援計画が親のニーズや子どもの姿に合っていないと感じた。・子どものことをよく見ている個別支援計画だと思う。・支援プログラムに書かれている通りの支援内容が行われていると思う。	個別支援計画は保護者の方のアンケートや教室内でのアセスメントをもとに作成していますが、内容について保護者のかたと共通理解ができるよう丁寧な説明と確認に努めて参ります。
	8 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	82	6		9	・子どもの様子に合わせて保護者のかかり方を具体的に示してもらえてわかりやすい。・用語が専門的すぎてそこまで考えていない。・できていることが課題になっていた。・具体的にできていることや課題が提案されている。・子どもへの接し方がわかりやすく取り組みやすい支援計画である。	お子さんのできることを土台に課題を見極め、保護者の願いや思いにも寄り添った支援の内容の提供ができるよう努めてまいります。
適切な 支援の 提	9 個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	84	5	3	5	子どもに合った支援が行われている。・職員によって差があると感じる。・計画は立てられているが具体的な対応を感じない。・計画に書いてある支援内容である。・子どもに無理なく支援計画に沿った支援がされている。	

供	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	84	9	1	3	・いろいろな活動があり、充実している。 ・こどもの状況を見てその都度変化を付けてくれている。 ・もう少し制作活動の時間があると嬉しい。 ・ダンスやパネルシアターを定期的に変えてもよいのではないかと。 ・二週続けてプログラムが組まれており、次も遊べると期待がもてる。	「わかった、できた」の積み重ね、楽しみながら課題に取り組めるような療育内容や回数等を検討しプログラムを組んでおります。
保護者への説明等	11	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	95	1	1		・説明は十分にあった。教室利用料の算定内訳の説明が曖昧。 ・事前に説明会があり、丁寧に説明してもらえたと思う。	安心してご利用いただけるよう引き続き丁寧な説明を心掛けて参ります。気になるところがございましたらいつでも職員にお声がけください。
	12	「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	95			2	・書面で確認しながら丁寧な説明があった。 ・説明だけでなく具体的な支援の仕方を教えてほしい。 ・こどもへの伝え方を的確に教えてもらった。	
	13	保護者に対して学習会や家族支援プログラム(ペアレントプログラム（※5）等)や情報提供の機会等が行われていますか。	87	4	2	4	・子育ての参考になった。 ・聞きたいことが学習会で聞いてもらえて良い。 ・父親参加できる休日プログラムもあるという。 ・ちょうど聞きたいことが聞けた。	
	14	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達について共通理解ができていると思いますか。	83	6	5	3	・親子教室のため情報共有しやすく相談しやすい。 ・あまり相談する時間はないように思う。 ・こどもの状況についても共通理解ができていると思う。 ・こどもの好きなことなどどれくらい伝わっているかわからない。 ・先生から話しかけられて話しやすい。 ・先生との共通理解のためになるべく話をしようとしている。 ・支援計画の提案時に共通理解を図っていると思う。	お子さんの状況や、関わり方についての共通理解に今後も心掛けて参ります。
	15	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	85	5	2	1	・定期的な個別支援計画の懇談でこどもの相談に乗ってもらったりとても参考になっている。 ・相談するタイミングがつかめない。 ・普段困りごとを相談するとアドバイスがもらえる。 ・親のこどもの接し方を見てほめてくれるので自信になり嬉しい。	
	16	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	87	1	2	3	・先生との話で寄り添った支援を感じる。 ・こどもの様子を伝えてくれ、親自身の発見にもなっている。 ・職員による共感が感じられない。 ・こどものことをすごくかわいがってくれて支援されていると感じる。 ・否定的な言葉は使わずにこどもの気持ちを受け止め対応してもらえて、親も言葉がけの勉強になった。	
保護者への説明等	17	保護者交流会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていますか。	82	8		3	・保護者交流会で活動中ではできない話がゆっくりできてよかった。 ・友達ができる機会が設けられている。 ・保護者同士で話をする懇談会、話す機会がもっと欲しい。	
	18	保護者からの相談や申入れについて、個人懇談等、対応の体制が整備されているとともに、保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	83	5	2	3	・相談しやすい環境。 ・もっと気軽に相談できるといい。 ・個人懇談の申し入れができると知らなかった。 ・相談したが聞き流された。 ・個人懇談だけでなく、自由遊びの時間に日頃の様子や相談に乗ってもらえた。 ・相談に対してきちんと対応してくれた。	相談しやすい環境を心掛けていきたいと思っております。いつでもお声がけください。よろしくお願いいたします。
	19	保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	87	3	3	1	・こどもの活動の説明はしっかりできている。 ・自由遊びの時に職員と話す機会があり情報共有できている。 ・あまりない。 ・外国籍に人への配慮がもっとあるといい。	
	20	定期的におたよりで、活動概要や行事予定等の情報を発信するとともに、運営についての情報や研修会情報、自己評価の結果等を掲示物やHP等で発信されていますか。	90	1		2	定期的なおたよりで活動内容や今後の予定が分かりとても良い。 ・もう少しスケジュールを早めに知りたい。	おたよりや毎回のミーティング等を通して情報発信したり今後の予定をお知らせしております。お知らせするタイミング
	21	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	87		2	4	・個人情報不十分だと思ったことはない。 ・自由遊び時間の話は他の保護者に聞こえるので、聞き取りは個人懇談のときがいい。	今後も配慮に努めて参ります。
非常	22	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。	88	2	2	1	入室の際に詳しく説明があった。	
	23	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	66	7	3	17	訓練はしていないが、職員は定期的に行っていると聞いている。 避難経路についての説明はあった。	

時 等 の 対 応	24	こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	87	2		4	こども同士でぶつからないかよく見てくれている。設定あそびを始める前にこどもの安全を確保するための注意事項の説明をしっかりと行っている。	
	25	事故やけが等が発生した際に、速やかに状況等について説明がされていると思いますか。	74	3		16	保護者以上にしてくれている。・その状況になったことがないのでよくわからない。そういった状況になったことがないのでわからない。	
満 足 度	26	こどもは安心感をもって通室していますか。	89	4			親と同じ温度感で接してくれるので信頼関係は十分築けていると感じる。・いつも嬉しそうに通室している。・嫌がることもあった。・知っている職員を見つくとハグしに行くようになった。建物に着いたらいつも走って行こうとしているので、安心感を持っていると思う。	
	27	こどもは通室を楽しみにしていますか。	87	1	2	3	・はじめは嫌がっていたが、自分から行くようになった。・こどもが楽しそうに活動していて発育が促されているように感じられる。・毎週楽しみに通うことができた。・にここしている。・先生やお友達の名前をすぐ覚えて通うのをたのしみにしている。・グループのお友達や保護者・先生と一緒に活動することを楽しみにしている。・いつもの歌やダンスは家でもやるぐらい楽しみにしている。・「すすすくに行くよ」というと「やったあ」というぐらい。家でも「今日はすすすく」と嬉しそうに話すことがある。	すすすく親子教室がお子さんにとって楽しい場所になれるようにこれからも努めて参ります。
	28	教室の支援に満足していますか。	82	8	2		・初めてすることや友達と関わりを持つ経験ができた・こどもの成長を感じることが増えて嬉しい。・走り回っているこどもへの対策が知りたい。・楽しく通っているが、おもちゃや音楽がいつも同じ、もっとバリエーションを増やしてほしい。・道具の入れ替え時にこどもが待てないので工夫してほしい。・療育の支援としては不足を感じる。家でできないことを体験できるのでありがたい。・親子教室のため親の勉強にもなり非常に良い。・これからも続けていきたい。・いろいろなあそびを用意してくれているので満足。・通わせて良かったと思っている。こどもの成長を感じられているとともに親自身がこどもについて知る学びの機会になっていると思う。	保護者の方にとっても、安心してご利用いただけるよう、全職員が一つとなって療育を勤めていきたいと思っております。

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められており、すすすく親子教室でも掲示やHPで公表しています。

※3 「個別支援計画」は、児童発達支援を利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5 「ペアレントプログラム」は、保護者がこどもの困った行動を理解しほめて育てることを学ぶことにより、楽しく子育てしていけることを目標とします。